

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	治山事業（小規模治山事業（治山施設機能向上））					
地区名	いぬやまし おおあざせん じのあざてらぼらやしき 犬山市大字善師野字寺洞屋敷					
事業箇所	いぬやまし おおあざせん じのあざてらぼらやしき 犬山市大字善師野字寺洞屋敷 地内					
事業のあらまし	山腹崩壊地の拡大崩壊による土砂の流出が多くみられ、山地災害の危険性が高い。そのため、地元からの要望と荒廃現況を勘案して法枠工を計画した。					
事業目標	【達成（主要）目標】 法枠工 6 1 7. 9 m ² を設置し、荒廃山腹斜面の保全を図る。					
事業費	事業費		内訳			
	1 4 百万円		■工事費	1 4 百万円、	□用補費	百万円、□その他 百万円
事業期間	採択年度	2 0 1 4 年度	着工年度	2 0 1 5 年度	完成年度	2 0 1 5 年度
	事業内容 法枠工 6 1 7. 9 m ²					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	【達成状況】 治山施設が整備されたことにより、荒廃山腹斜面が適切に保全され、山地災害の未然防止が図られている。 【達成状況に対する評価】 事業目標を達成しており適切である。				
	2) 副次目標の達成状況	【達成状況】 【達成状況に対する評価】				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	事業目標は達成されており、今後の事後評価の必要性は無い。					
改善措置の必要性	事業目標は達成されており、今後の改善措置の必要性は無い。					
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画・工法で施工しており、重大な問題も発生していないため、同種事業に反映すべき事項はない。					